

第8期第1回さいたま市公民館運営審議会 議事録

1 開催日時

平成27年11月20日（金） 午前10時から11時40分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者名

〈委員：14名〉

- ① 坂西 友秀 委員長
- ② 佐伯 加寿美 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 五十嵐 健一 委員
- ⑤ 稲垣 克行 委員
- ⑥ 碓井 麻由美 委員
- ⑦ 加藤 正晴 委員
- ⑧ 黒岩 清 委員
- ⑨ 田中 徳代 委員
- ⑩ 長谷部 美紀代 委員
- ⑪ 原 綾 委員
- ⑫ 松村 有香 委員
- ⑬ 山崎 秀雄 委員
- ⑭ 山本 歩美 委員

〈拠点公民館職員：10名〉

- | | |
|----------------|--------|
| ① 西区 指扇公民館長 | 小林 照教 |
| ② 北区 大砂土公民館長 | 塚田 和正 |
| ③ 大宮区 桜木公民館長 | 斎藤 隆 |
| ④ 見沼区 大砂土東公民館長 | 吉田 勉 |
| ⑤ 中央区 鈴谷公民館長 | 佐藤 賢一 |
| ⑥ 桜区 田島公民館長 | 戸張 豊一 |
| ⑦ 浦和区 岸町公民館長 | 大嶋 真浪 |
| ⑧ 南区 文蔵公民館長 | 山本 修一 |
| ⑨ 緑区 大古里公民館長 | 三上 富士夫 |
| ⑩ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 宮崎 通夫 |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 小野里 毅
- ② 副館長 小川 栄一
- ③ 主幹 森田 隆之
- ④ 主幹兼事業・企画係長 関根 一男
- ⑤ 事業・企画係主査 荻原 唯史
- ⑥ 社会教育指導員 橋本 佐度子

4 議題

- (1) 公民館運営審議会について
- (2) 生涯学習総合センター・公民館について
- (3) 諮問について
- (4) 今後の会議日程について

5 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 第8期第1回さいたま市公民館運営審議会出席者名簿
- (3) 第8期第1回さいたま市公民館運営審議会席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会 第8期委員名簿（資料1）
- (5) さいたま市公民館運営審議会の概要（資料2）
- (6) 生涯学習総合センター・公民館概要（資料3）
- (7) さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦している委員一覧（資料4）
- (8) 第2次さいたま市生涯学習推進計画概要版
- (9) さいたま市立公民館利用案内
- (10) 平成27年度さいたま市民大学募集案内
- (11) さいたま市公民館運営審議会への諮問について（写し）

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴者の数

1名

8 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

9 審議内容

議題（１）公民館運営審議会について、議題（２）生涯学習総合センター・公民館について事務局より（資料２）、（資料３）に基づき説明した。

坂西委員長	ただ今の説明について、ご質問があればお願いします。
長谷部委員	資料３の１０ページの「生涯学習総合センター・公民館主催事業一覧」の中の団塊世代支援事業の事業数、回数、参加人数が「０」になっていますが、どのような事業を企画なさったのか伺いたと思います。何故かと言いますと、団塊の世代は、もっと、これから活動していただきたい世代にもかかわらず、あまり参加されていないので、少し気になっています。
坂西委員長	はい、団塊世代ということで、具体的にどういうことをなさっているのか、見えないということですね。
長谷部委員	はいそうです。今すぐにお聞きしても、無理だと思いますので、次回にでもお願いします。
関根主幹兼事業企画係長	はい、調べて、次回に回答させていただきます。
坂西委員長	では、それは次回に回答ということでお願いします。あとはいかがでしょうか。皆さんが考えている間に一点だけ私から、若い人達、子供、お母さん達の利用が少ないような感じがしているのですが、先ほどの若者のニーズが無い、これは検討しなければいけないのですが、ニーズが無いから「０」になっているのか、それとも何か来にくいとか、きっかけが無いから来れないとか、ニーズが無い訳ではないけれど、なかなか利用しにくいから来ないということになるのか、この辺はどういう風に見ていらっしゃるのか伺いたと思います。ニーズは潜在的に有るのだけれど、何かが阻害している、来にくくしているのであれば、何か掘り起こさなければいけないと我々も考えなければならないのですが、ニーズが無いとなると、ニーズを作らなければならない、その辺を説明していただきたいと思います。
関根主幹兼事業企画係長	資料３の公民館の事業方策の中で、２ページ（６）「講座参加者アンケート等を通じ市民の学習ニーズに応じた講座・事業を実施する」とありますように、公民館の事業については、各講座後、参加された方に必ずアンケートを取っています。その内容を見て、ニーズの多いものを次年度に反映していきます。アンケートを取っている対象が公民館を多く利用されている高齢者の方、あと、先ほど、お母さんが少ないと言っていました、お母さん方は子育て関係の講座で、沢山お集まりいただいています。また、今まで過去に青少年・若者に対する講座を開催しても、なかなか人が集まって来ないという事で、自然に減少している状況もあり、なかなか青少年のニーズが出てこなくなっています。 ですから、「ニーズ」という言い方は誤解を招きやすく申し訳ないこと

	<p>ろですが、現状ではアンケートからはそういう状況が見えてしまうというわけです。</p>
原委員	<p>質問なのですが、中学生を持つ親として、ニーズが無いと一口に言っても、きっとニーズは有ると思います。中学生ですと、さいたま市内では、「未来くるワーク」と言って、職業体験をするのですが、やはり、若い時から、仕事というのは、どんなものがあるか、働くという事はどんな事なのか、いろいろなキャリア形成などのアドバイスとか、例えば、ゲームが好きと言っても、いろいろな仕事があります。車が好きと言っても作る所からドライバーまでいろいろあります。そのような機会とか、スマホの使い方とか、保護者や子供自身が悩んでいる事は沢山あります。</p> <p>公民館主催事業というのは、場所、会場が、公民館で行うということが大前提になっているのでしょうか。逆にどこかに来てやることも可能でしょうか。中学生というのは忙しくて、部活もあって、放課後どこかに集まるのは無理で、運動部ですと土日にどんなに良い講座をやっても、部活を休んで来ることしかできなくて、高校生になると、各箇所には散っておりますので、そこに住んでいても来ることができない。となると何か、学校へ行くとか、何かの中で会場を提供してもらうことは可能でしょうか。</p>
関根主幹兼事業企画係長	<p>基本的には公民館で開催するのが原則なのですが、中学校等との連携は常に言われていることであり、周知する意味で、学校と連携しての講座の開催は可能です。私達も、若い方がどういう講座をやってもらいたいか、ニーズの把握ができていない状況なので、この後の諮問の方で、館長の方から話もありますが、その辺の内容について皆様方のご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
青木委員	<p>資料3の基本方針で、「第6期公民館運営審議会答申『社会変化に対処する公民館のあり方について』をふまえ」とありますが、新しく委員になられた方にこの答申と前期第7期の提言「市民の〈声〉が生きる公民館へ」を資料として提供していただけますでしょうか。</p>
関根主幹兼事業企画係長	<p>はい、次回資料として用意させていただきます。</p>
稲垣委員	<p>資料3の1ページ基本方針の重点事業に親の学習事業があります。私は学校にいるものですから、学校と保護者の観点から、10ページの「子育てに悩む親たちのための子育て支援セミナー」の事業数、参加者数が「0」になっているのが気になります。今、学校のなかでも、学習障害の悩み、親同士の関係、子供同士のいさかい等で悩む親がたくさんいます。このあたり、学校と公民館で意見交換しながら、先ほど、会場を変えてもいいということでしたし、学校の中で子育て講座も可能なのではないかと思います。そうすると親が公民館に行く事にもなるし、学校で親の子育ての力を上げていけるのではないかと思います。</p>
佐伯副委員長	<p>「子育てに悩む親たちのための子育て支援セミナー」は、多分、親の学</p>

	習に含まれていると思います。その他にも、公民館以外でも親の学習は出前講座などでも行われていると思うので、そのあたり、事務局からお話していただきたいと思います。
関根主幹兼事業企画係長	<p>「子育てに悩む親たちのための子育て支援セミナー」は、先ほどお話しした、さいたま市の重点事業である親の学習事業にシフトしている形になっています。親の学習では、進行役として養成されたファシリテーターと子育て中の親が悩みなどについて話し合っただくという講座です。ファシリテーターは、答えを教える人ではなく、進行役として、話し合いを一緒になって進めていく役割を持った者のことを言います。</p> <p>学校との連携も公民館でも考えているところなので、今後、検討していきたいと思います。</p>
坂西委員長	他にいかがでしょうか。今は大きなところを理解していただければよろしいかと存じます。それでは、議題（3）諮問について事務局からお願いします。

議題（3）諮問について、生涯学習総合センター館長より、資料「さいたま市公民館運営審議会への諮問について（写し）」及び第8期さいたま市公民館運営審議会スケジュールを配布した上で、説明した。

坂西委員長	<p>大まかなところで、諮問内容等についてご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>2点私から、1点目は、公民館と青少年・若者の「つながり」と「ニーズ」（現状の把握・課題の整理）とあります。現状を把握しないと解決策も出ないので、ここは一番重要な所です。</p> <p>2点目は、どういうものが青少年・若者が魅力を感じ、かつ地域とつながるための公民館事業なのかということです。これもなかなか大きな課題で、地域のあり方に係わる場所なので、皆さんのお知恵を拝借していきたいと思います。</p> <p>青少年・若者をどの範囲まで絞るかというのも、それによってアプローチの仕方も変わってくるので。</p>
佐伯副委員長	今、青少年・若者の対象の話が出ましたが、事務局ではどのように考えているのですか。
関根主幹兼事業企画係長	青少年の定義というものは、色々調べてみましたが、なかなか上手く言えるものはありません。考えているのは、中学卒業くらいから、39才までが青年・若者ということですので、公民館にも集めるのが難しい世代ですので、16才から30才代半ば位を考えています。
坂西委員長	確かにきちんとした定義はないです。色々な意見があると思いますが、16才から地域の青年ということで40才位ということではいかがでしょうか。また何かありましたら、次回以降出していただきたいと思います。

	<p>では、次回より答申に向けて、委員の皆さんと審議をしていきたいと思 います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>とにかく最初は色々なものを出していただいて、それをまとめていき たいと思います。</p> <p>それでは今後の会議日程等について事務局に説明をお願いしたいと思 います。</p>
--	--

議題（４）今後の会議日程について、事務局より、次回は、１月２２日（金）午後１時より生涯学習総合センター１０階多目的ホールにおいて開催することを確認した。また、３月以降は、奇数月第４金曜日午後１時より、生涯学習総合センター７階講座室１・２において開催することを確認した。

１０ その他

事務局より、さいたま市公民館審議会から他の会議等に推薦している委員について（資料４）に基づき説明した。

１１ 閉会